

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月30日
2次評価日（課長等）	30年3月30日

1 事業名	塩嶺野外活動センター管理事業		コード	102301	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（生涯学習活動センター）	
	作成者	笠原利彦			
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	生涯学習の推進	施策	青少年の健全育成
		予算科目	塩嶺野外活動センター管理事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		設置条例	岡谷市塩嶺野外活動センター		

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	青少年をはじめとする全利用者に対して自然に親しみながら野外体験活動を通じて豊かな情操を培い、心身の健全な育成を図ることができるようセンターハウス、キャンプ場当の適切な維持管理を行う。		
目的	対象者	市民	
	意図	自然に親しみながら野外体験活動を通じて豊かな情操を培い心身の健全な育成を図る	

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	29年度指定管理料 円
施設における通常業務	・開館期間 5月～10月（6ヶ月間） ・休館日 毎週月曜日（但し月曜日が祝日の場合はその翌日） ・センターハウス、キャンプ場、マレットゴルフ場の維持管理
事業の実施内容	(29年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 前年度利用者への開館のお知らせを送り利用者の促進を図った。
前年度の課題への対応	老朽化に伴う修繕については、随時対応している。

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
① 施設稼働率	39.9%	39.1%	34.2%	
年間開設日数（日）	158	157	157	158
1日の開設時間（時間）	24	24	24	24
年間利用可能時間（時間）	3,792	3,768	3,768	3,792
年間利用実績（時間）	1,514	1,475	1,288	
② 年間利用者数（人）	2,203	2,036	2,084	2,200
有料利用者数	970	844	810	1,000
無料利用者数	711	726	700	700
減免措置者数	522	466	574	500
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	13.9	13.0	13.3	13.9
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	5,193,289	6,559,767	5,681,072	18,432,000
経常経費	5,193,289	5,082,327	5,038,569	5,232,000
臨時的経費		1,477,440	642,503	13,200,000
* 臨時的経費の説明	屋根改修工事 平成30年度に13,200,000円繰越			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト(①+②)	8,393,289	9,759,767	8,881,072	21,632,000
前年度比		116.3%	91.0%	243.6%
財源内訳				
一般財源	8,393,289	9,759,767	8,881,072	21,632,000
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	591,830	825,130	955,480	988,000
⑤ 年間減免措置額	383,820	271,000	231,970	295,000
⑥ 受益者負担割合	18.8%	16.7%	20.9%	7.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	3,810	4,068	3,953	
前年度比		106.8%	97.2%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数 前年度比 102.4%		
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額 前年度比 115.8%		

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えている
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 定期的に施設点検を行い随時対応するようにする。
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
	予定事業費	円	予定時期
内容			

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	102301	塩嶺野外活動センター管理事業
-----	--------	----------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
報酬			0	
共済費			0	
賃金			0	
需用費			0	
役務費			0	
委託料			0	
使用料及び賃借料			0	
原材料費			0	
工事請負費		242,503	242,503	
負担金補助及び交付金			0	
合計	0	242,503	242,503	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数		0.20	0.20人
合計	0	1,600,000	1,600,000円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	1,842,503	1,842,503

施設の運営コスト計算シート

事業名	102301	塩嶺野外活動センター管理事業
-----	--------	----------------

1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
報酬	2,172,000		2,172,000	
共済費	311,868		311,868	
賃金	285,543		285,543	
需用費	965,221	400,000	1,365,221	
役務費	234,470		234,470	
委託料	199,800		199,800	
使用料及び賃借料	771,636		771,636	
原材料費	96,031		96,031	
負担金補助及び交付金	2,000		2,000	
			0	
合計	5,038,569	400,000	5,438,569	

2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.20		0.20人
合計	1,600,000	0	1,600,000円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	955,480		955,480	
実費徴収金	70,310		70,310	
			0	
			0	
			0	
合計	1,025,790	0	1,025,790	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	5,612,779	400,000	6,012,779